

# 奈良市 協働のQ&A

vol.8

協働が必要な事業とは、どのようなものなのでしょうか。また、どのように、協働する事業を決定すればよいのでしょうか。今回は2問続けて紹介します。

## Q9 事業を行ううえで、ニーズの優先順位はどう決めればいいの？

A9

優先順位の決め方として、まずは協働しようとする事業が、市の政策に合っているかどうか重要だよ。

他にも、市民のニーズが高い事業を優先することはもちろんだけど、どれくらい重要なのか、緊急に行うことが必要なのか、市民みんなのためになるものなのか、かかる費用に対してどのくらいの効果があるのか、そして実際に実現できるのかどうかを考えて、優先順位を決めていくといいよ！

## 協働事業ってどんなもの？

市役所にはいろいろな部署があるね。それぞれの業務や事業に、どんな協働の方法が考えられるのか、その一部を紹介するよ！

### 主に市民を対象としている部署

教育、福祉、保健、環境、交通、広報、建設、国際、税務、商工、水道、産業、林業…など

### 主に庁内を対象としている部署

人事、財政、監査…など

### 基本原則

高齢化に伴う「サービス需要増+税収減」という状況を支え続けるために、民間の活力を取り入れたり、サービスの多様化を図ったり、協働できることを効果的に増やそう！

「より効果的に内部事務を円滑に行う」ために、市民から意見・協力を求めて業務改善を積み重ねよう！

### 具体的な方法

- 市民、団体、企業等との交流
- 民間との相互学習
- 高齢者や外国人への説明や支援
- 官民合同でスキルの向上等の研修
- 表彰の機会をつくる

- 意見募集（例：アンケート調査、パブリックコメント）
- 協力募集（例：効果測定、研修協力）

（参考：H25協働のための職員研修資料—HOE川北秀大氏作成）

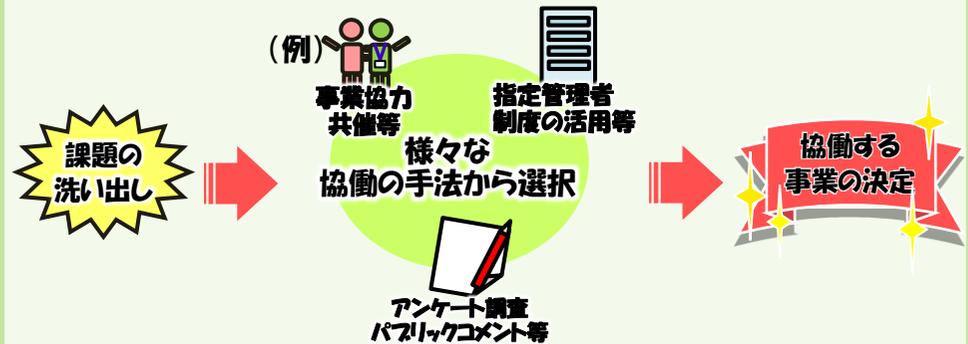
## Q10

## 協働する事業はどのように決めればいいの？

A10

どのような課題を解決したいかにもよるけど、まずは特に重点的に解決する必要がある、地域の課題や社会的な課題を洗い出そう。

そしてその中から、協働で取り組むことによって、高い効果が得られる見込みのあるものを選ぶんだ。市と協働相手が一緒に取り組むことで、それぞれの知識や経験、技術が活かせる事業や、市民の声を活かせる事業を選ぼう！



実際に協働事業を始めたら、その内容にあった協働の相手を見つけて、具体的な取り組み内容について、その協働の相手と共に企画の段階から協議・検討を重ねながら進めていこう。

どうすれば効率がいいか、効果はどのくらいでできるか、どうやって続けていくのか、などの視点で考えていこうね。

ちなみに、事業の目的と内容によっては協働の相手が最初から限定されることもあるけど、市が関わる協働事業は公共的な課題の解決をするためのものだから、協働の提案に関する手続きを進めるときは、公平性を保つために、公募によって協働の相手を選定することが望ましいよ。



協働にもいろいろな種類があるんだね。市の政策とか、効果、費用、その事業に合った協働の方法を考えて、協働事業を進めていこう！

NEXT!

## Q11 協働の相手はどうやって決めるの？

…協働の相手の決め方って、どうすればいいのかなあ。

